

川崎フロンターレ、今年の挑戦。

2023シーズンの川崎フロンターレクラブキャッチフレーズは、「Exceed_」。この、Exceed_のキャッチフレーズのもと、私たちは、立ち止まることなく、挑み続けています。

◎Anker フロンタウン生田の開業

新しい地域の拠点として、「Anker フロンタウン生田」が、川崎市上下水道局の生田浄水場用地に2023年3月にオープン。川崎フロンターレアカデミーの活動拠点としてU-12,U-15,U-18がともに練習できる2面のサッカーグラウンド、練習後に温かい食事をとれる環境やトレーニングルームなどを整えています。

また、川崎市民の皆様に喜ばれるスポーツ活動拠点として、子どもから高齢者まで、世代や障がいの種類・程度にかかわらず、誰もがスポーツに気軽に触れられる機会を提供し、豊かなスポーツ文化の振興と市民の心身の健全な発展に寄与したいと考えております。



◎過去最大のブース数「2023ファン感謝デー」

7月16日(日)、後援会会員を対象とした「2023ファン感謝デー」を等々力陸上競技場で開催しました。過去最大のブース数となつた今年は4年ぶりに選手とのふれあいも復活し、選手の素顔が見られるステージコーナーや飲食コーナーなどフロンターレならではの新コーナーも登場し、内容盛りだくさんでした。

4年ぶりに選手とサポーターが触れ合うことができたことで、よりチームとサポーターに一体感が生まれ、当日は今年のファン感謝デーのテーマである「スマイル」で溢れ、等々力陸上競技場が最高の空間となりました。

◎話題盛りだくさんのイベント企画

2023年のフロンターレも話題が盛りだくさんのイベントを開催。開幕戦となった2月17日(金)の横浜F・マリノス戦では、映画『湯道』とのコラボイベントとして、演歌界の大スター、天童よしみさんにお越しいただき、おそらく世界初となる映画で実際に使用された「番台」に天童さんが構え、両脇には「暖簾」を設置し、映画『湯道』の世界観を再現して、両チームの選手入場を実施。

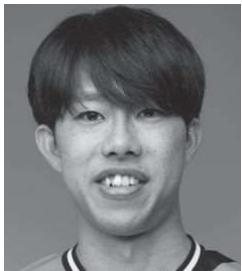
6月11日(日)広島戦では「Finlandランド」と「みずみずフェア」を開催! キックオフのおよそ6時間前! ?にスタートし、サウナヴィレッジやエアギターパフォーマンス、今年初の試みである川崎市&大田区の各銭湯店舗さんのグッズを集めた、川崎大田銭湯連合会グッズ販売ブースなど、たくさんの方にお越しいただき終始大盛況となりました!!

7月8日(土)横浜FC戦での「Fサーキット」「カブトムシの森」「安全・安心フェア」は、今年イチの特大イベントとなりました。「川崎市制記念試合」ということで毎年恒例の「YMCAショ」が開催され、今年は日本レースプロモーション近藤真彦会長がオーブンカーに乗って登場。会場を盛大に盛り上げてくださいました!



また、近藤真彦会長の「Start Your Engine!」の掛け声に合わせて、スーパー・フォーミュラカーが等々力陸上競技場を爆走!! ドライバーはTEAM IMPUL所属関口雄飛選手。圧巻のドライビングテクニックでスタジアムトラックを駆け抜けました。

これからも川崎フロンターレは、様々なことに挑戦し、川崎市を盛り上げていきます!



DF5

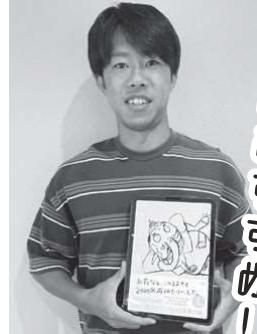
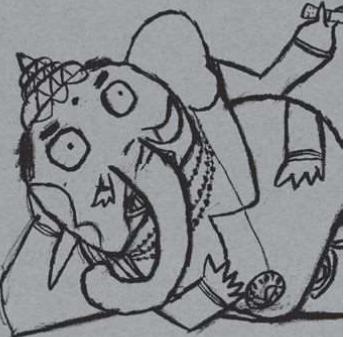
[ささき・あさひ]
佐々木 旭

選手プロフィール

■2000年1月26日／埼玉県川越市出身

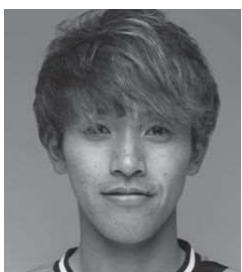
左右両足のキック技術と対人戦の強さがウリの万能型DF。走攻守において高いレベルを誇り、主戦場のサイドバックだけではなくセンターバックでもプレーできるユーティリティ性も持ち味。

夢をかなえるゾウ 1 水野敬也

私の
おす
すめ！**『夢をかなえるゾウ 1』**

水野敬也／著 文響社／出版 2021

ごく一般的な生活を送っている会社員の主人公の前にゾウの頭をもった神様ガネーシャが現れ、変わりたいと思っている主人公の夢をかなえるためにさまざまな課題を与える物語です。「お母さんのお手伝いをする」「掃除をする」「友だちに話しかける」といったそこまで難しい課題ではないんですが、実際に行動に移してひとつずつクリアしていくことが夢をかなえることにつながるということを教えてくれる作品です。



MF8

[たちばなだ・けんと]
橘田 健人

選手プロフィール

■1998年5月29日／鹿児島県霧島市出身

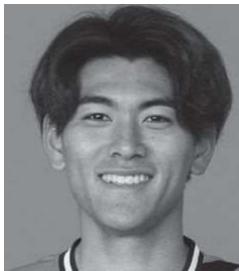
中盤で精力的に動き回り相手の攻撃の芽を摘み取るハードワーカー。競り合いに強く、鋭い反応と予測でルーズボールに反応。チームのピンチを未然に防ぐ。2023年キャプテンに指名された。

私の
おす
すめ！**『無人島の冒険』**

ロン・ロイ／作 黒澤浩／訳 小栗麗加／絵 国土社／出版 2009

無人島にキャンプをしに行った兄弟2人がある出来事を引き起こしてしまい、とても大変な状況に追い込まれます。そこで兄のハーリーが勇気を振り絞って弟スクープの身を守りながら救出を待つ…、というストーリーです。両親の言いつけを守らなかつたことで大ごとになってしまふんですが、困難な状況のなかで兄ハーリーが機転を利かせてどう切り抜けるかといったところが面白かったのでぜひ読んでみてください。





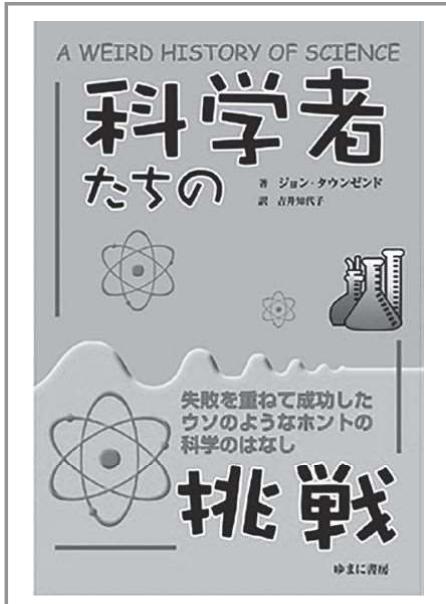
[たなべ・しゅうと]

DF15 田邊 秀斗

選手プロフィール

■2002年5月5日／京都府相楽郡出身

スピードを生かした対人戦の強さと積極果敢な攻撃参加が武器のDF。持ち前の運動能力の高さでセンターバック、両サイドバックをこなす。



私の
おすすめ！

『科学者たちの挑戦』

ジョン・タウンゼンド／著 吉井知代子／訳 ゆまに書房／出版 2013

教科書に載っているような科学者の人たちのお話です。でも内容としてはそこまで難しくなくて読みやすいと思います。後世に残るような発見や発明をしている人でも何度も何度も失敗していて、それでも諦めずに挑戦し続けることで成功したというエピソードがたくさん書いてあります。この本では科学者のことを紹介していますが、挑戦を続ける姿勢が大事というのはサッカー選手も同じ。何事にも通じるものがあると思います。



[せこ・たつき]

MF16 瀬古 樹

選手プロフィール

■1997年12月22日/東京都足立区出身

高い技術をベースとした正確なプレーでリズムを作り、チームの攻守をつなぐMF。横浜FCより加入した1年目の昨シーズンは、主戦場のボランチだけではなくサイドバックでも出場。



私の
おすすめ！

『こころのパス-サッカーで折れないメンタルをつくる21のヒント-』

中村憲剛・佐藤寿人・今野泰幸／著 小学館クリエイティブ／出版 2022

著者の3人はサッカー界のレジェンドたちで、それぞれが心の持ち方、考え方について語る本です。一見するとサッカーの本だと思われそうですが、ぶつかった壁を乗り越える、周りの支えがあるからこそ自分がある、コミュニケーションをとりながら自己主張するといった話なので、サッカーが好き嫌いに関係なくいろいろな人が読める本だと思います。大人になっていく上ですごく大事なことがたくさん書いてあるのでおすすめです。





[おおぜき・ゆうと]

MF28 大関 友翔

選手プロフィール

■2005年2月6日／神奈川県川崎市出身

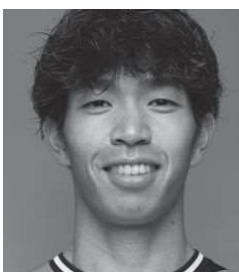
川崎市麻生区出身。川崎フロンターレU-18よりトップチーム昇格。
中盤でボールを受け、長短のパスを使い分けチーム全体のリズムを作
るゲームメーカー。



『幸せな挑戦-今日の一歩、明日の「世界」-』

中村憲剛／著 KADOKAWA／角川新書／出版 2013

僕がサッカー選手として尊敬している中村憲剛さんが書かれた本ということで、読む前からすごく楽しみにしていました。実際に読んでみると、憲剛さんは子どもの頃はそれほどエリートではなかったという話をされていて、意外と僕と似た境遇だったんだなと思いました。うまくいかないこと、苦しいことって誰もあると思うんですが、それでも努力を続けることで自分の未来を変えられるんだよという希望を感じさせてくれる一冊です。



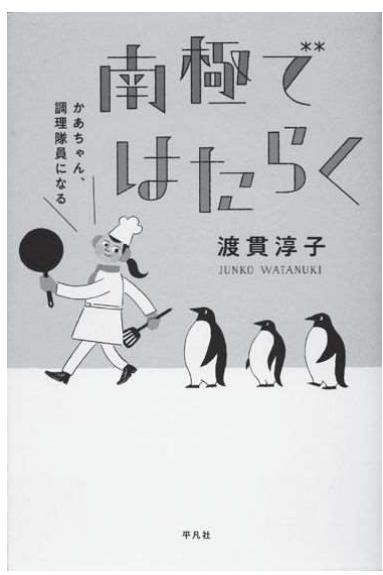
[みやしろ・たいせい]

FW33 宮代 大聖

選手プロフィール

■2000年5月26日／東京都港区出身

川崎フロンターレアカデミー出身。最前線だけではなく1.5列目やサイドのポジションでも機能し、周りの選手を使うテクニックにも長けている。



『南極ではたらく-かあちゃん、調理隊員になる-』

渡貫淳子／著 平凡社／出版 2019

主婦として暮らしていた著者が南極観測隊の調理隊員になるために何度も試験を受けて、実際に南極に渡り厳しい環境で生活をしている人たちのために料理を作るという挑戦が描かれている本です。自分の強い意志でやっていることが人のためになっていたり、人を幸せな気分にさせるってすごいことだなと思いました。僕もプロサッカー選手として、自分のプレーで周りに夢を与えられるようになりたいと思った一冊です。